

新潟県に災害をもたらした主な気象事例

【令和元年東日本台風】

令和元（2019）年 台風第19号による10月12日から13日にかけての大雨、暴風

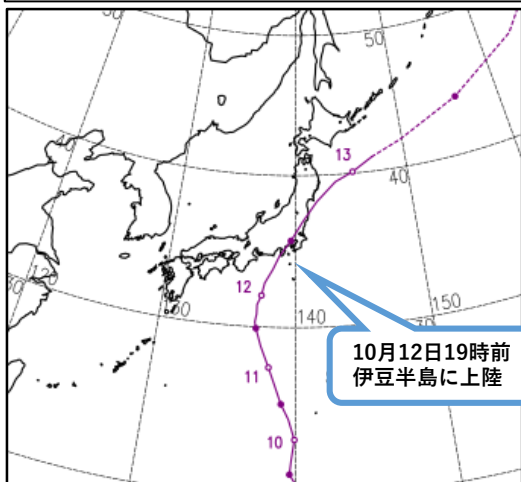
台風接近による大雨と暴風 ～新潟県で初の大雨特別警報～

【概要】

令和元（2019）年台風第19号は、10月12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、関東地方を通過した後、13日未明に東北地方の東海上へ進んだ。この台風の影響で、新潟県では12日から13日にかけて大雨や暴風となり、糸魚川市、妙高市、上越市に大雨特別警報（土砂災害、浸水害）を発表した（県内初）。12日1時から13日24時までの総降水量は上越や中越の山沿いを中心に200ミリを超え、特に10月12日のアメダス日降水量は県内6地点で統計開始以来の極値を更新した。この大雨により、矢代川（上越市）や浄土川（長岡市）など複数の河川が氾濫したほか、土砂災害も発生し、新潟県全体で25棟の床上浸水や278棟の床下浸水、道路の決壊など多くの被害が出た。

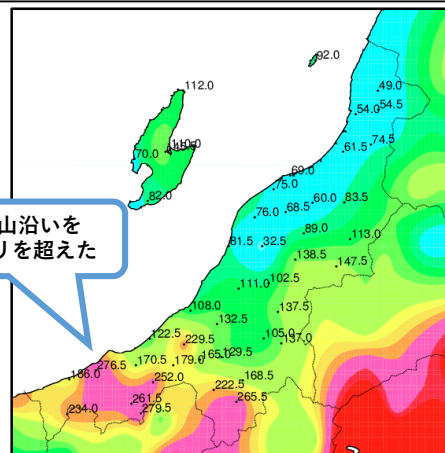
台風の接近に伴って風も強まり、最大風速は新潟市松浜で22.9メートル（12日23時4分）、佐渡市両津で21.4メートル（12日21時22分）を観測し、負傷者や農業施設への被害が出た。

（被害状況：新潟県防災局危機対策課 令和2年1月30日13時30分報道資料より）



令和元年台風第19号 経路図

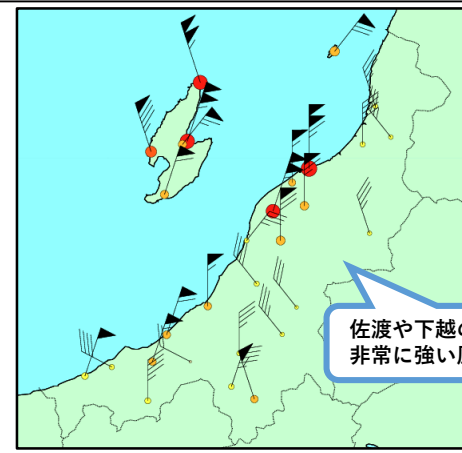
※経路上の○は傍らに記した日の午前9時、●は午後9時を示す。



上越や中越の山沿いを
中心に200ミリを超えた

アメダス 降水量 (mm)
20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220 240 260 280 300

アメダス積算降水量分布図
令和元年10月12日1時～13日24時



佐渡や下越の沿岸部で
非常に強い風を観測

アメダス 風速 (m/s)
0 5 10 15 20 25 30 35 1m/s 2m/s 10m/s

アメダス最大風分布図
令和元年10月12日1時～13日24時